

# 有田史談会 月例通信

史談会ホームページ



## 春の兆し 河津桜とシロウオ漁

2月中旬。長崎県佐々町に河津桜を見に行きました。佐々川の河口約1.5km 沿いにおおよそ300本の河津桜が植わっております。訪れた日は10本ぐらいに花がチラホラ咲いていましたが、ちょっと早すぎたようでした。下を見れば川の護岸から突き出すように組んだ足場で1.5m 四方の四つ手網を使い、上げ下げしてピチピチのシロウオをすくい上げる漁法が行われていました。シロウオ漁は10カ所ぐらいで行われていて、1回で少だけシロウオが取れていました。果たして商売になるのかどうか。なんとも風流な日本の春の様子。いい気候になりけり。

鶴 一樹



## れきみん応援団の活動を終える!

昨年末に文化財課より、れきみん応援団へ活動のために活用してもらう目的で寄贈した歩こうマップ等の資料が、「インボイス制度 適格請求書等保存方式」の導入により、資料館では販売出来なくなったとの事情が伝えられ、文化財課山口課長と協議し、取り敢えず寄贈した資料を引き上げるとともに事務局も発足時に立ち上げた中村宅に戻しました。

ここ数年の活動を振り返ると、尾崎葉子元館長の退任以降れきみん応援団の活動が希薄になったばかりか、旧田代家西洋館の管理業務もれきみん応援団の活動から切り離され、れきみん応援団の存在が薄らいでいるのが現状です。

れきみん応援団発足から12年以上が経過し、団員の高齢化が進んでいます。新規加入の団員はなく、今までと同様の活動が体力的にも難しくなり、資料館との協働での活動そのものを見直す時期が来ていることを実感しています。

熟慮の末、本年度3月末日をもってれきみん応援団を解散することを決意するに至りました。

また、これまでれきみん応援団の活動資金として活用してきた寄贈品(歩こうマップ、覚書等資料)売上の残金¥69,083は現在事務局にて預かりになっておりますが、解散に伴い有田史談会が引き継ぐことに致しました。

有田史談会は、もともとNPO法人アリタ・ガイド・クラブ解散後に当時の会員で構成された団体で現在も活動を続けており、引き継ぐ預かり金は有効に活用させていただきますので、何卒ご理解くださいますようお願い致します。発足から13年間にわたり、団員の皆様にはご協力を頂き大変お疲れさまでした。

また、尾崎葉子元館長には長い間団員への心配りを頂き本当に心より感謝しています。

なお4月以降は個々に文化財課・歴史民俗資料館と関わることとなりますことをご承知おき下さい。

れきみん応援団には有田史談会メンバー以外の団員が5名あり、以上の方々には文書をもって解散の通知を行いました。



## 編集長の独り言!

本年度の活動も残りわずかになりました。大串和夫さんの急逝で、しばらくは何も手に着かない状態でしたが、鶴さんと山口さんの協力を得られて何とか史談会を立て直すことが出来ました。

れきみん応援団は体力の限界を理由に3月末で解散することになりましたが、4月からの新年度に向け、鶴会長、山口副会長に力強いリーダーシップを存分に発揮して頂き、楽しい有田史談会が継続出来ることを期待しています。

4月は例年通り、食事会を兼ねながらスタートの予定ですが、キッキングランマと調整を行っています。

また、新年度は「歩こうマップ」など活用しながら、老化防止と運動不足解消も兼ねた「町歩き」を計画中です。楽しい活動を目指して行きたいですね。

